

蒲生町国際交流協会

団体の紹介・活動の目的

本協会は、会員27名の始良市蒲生町にある団体です。

会員相互の連絡協調のもとに、国際文化交流事業を通して、始良市の住民の国際理解と国際協力をすすめる、世界の平和や国際親善に貢献し、併せて地域社会の活性化と発展に寄与することを目的としています。

連携・協力している団体など

- NPO 法人 Lab 蒲生郷
- 蒲生郷おかべ会

活動の内容

- 始良市民の国際理解を深めることを目的に年間を通して国際文化交流事業に取り組んでいます。
- 韓国との友好のシンボルである韓国桜を後世に残すことを目的とした「韓国桜フェスティバル」の開催や、草払い等の維持管理を行っています。
- 夏休み期間中に始良市内の学生が韓国を訪れ、学校交流やホームステイなどを通じて、韓国の文化や伝統芸能等を体験する“ふれあう旅「韓国」”を実施しています。



【ふれあう旅「韓国」】

始良市内の小・中・高生が、夏休みに訪韓。韓国国立伝統芸術中高等学校との学校交流、ホームステイなどで温かい交流を続けています。



【日本一大楠どんと秋まつり】

ふれあう旅「韓国」との相互交流企画として、秋まつりに韓国の生徒を招き、鎮守の森の芸術祭で伝統芸能を披露するほか、ホームステイでの生活文化交流を行っています。



【韓国桜フェスティバル】

蒲生と韓国の交流のシンボル「韓国桜」を愛でるオリニ（子ども）のためのフェスティバルを春に開催。ドリームオブエンジェルス芸術団と文化交流や民泊交流を行っています。



【交流のシンボル「韓国桜」を育てる】

平成18年に韓国中央大学・朴範薫総長から寄贈された韓国桜を交流の証として後世へ残すため前郷川河川敷に植栽し、通年、河川敷を含めて丹念に手入れを行っています。